

「何もない田舎」には 本当に「何もない」ですか？



広報のと

第70号

平成22年12月1日発行

■発行・能登町 ■編集・広報情報推進課
〒927-1049
石川県鳳珠郡能登町字宇出津新1字197番地1

☎0768-62-11000(代)
能登町URL: <http://www.town.noto.lg.jp>
Eメール: info@town.noto.lg.jp

12
平成22年

特集 上を向いて歩こう
～『春蘭の里』の挑戦～

の
能登
と
英国
日
和
イギリス

能登町を古里として
英国で活躍する抒情書家

室谷文音がつづる
フォトエッセイ



能登で毎日暮らしていると、「偶然の出会い」がたくさんあります。その時、その場所に居たからこそ体験できた「その瞬間」たちに感謝しています。
能登に出会えてありがとうございます！



ヨーロッパではクリスマスは家族と過ごす大切な時間です。皆で集まりおいしいものを食べて飲んで話をするのが、年に一度の楽しみなのです。

「聖域」

ワイン造りに命をかけているフランスのぶどう園ではいつさいぶどうに水をまかない、と言います。その年、その年に降る雨だけが頼りなのだそうです。だから、ワインのおいしい年とそうでない年が自然と生まれるのです。

その話を聞きながら私は奥能登のある酒蔵を思い出していました。

案内された夏の酒蔵は美しく片付けられ、きれいに並んだお酒造りの道具を見た時、涙がこぼれました。そこは「聖域」でした。

こだわってお酒を造っている人は世界中にいるんだと完璧に手入れされた茶畑のようなフランスのぶどう園を眺めながらうれしくなりました。

毎年毎年、お米のできも違います。

「相手が『菌』だから、見えないものの対話なんですよ」とある元杜氏さんは言いました。

「何年やっていても、毎年違うんです」と現役杜氏さんも言いました。

モノを生み出す者にとって、つくる場所は大切です。芸術家にとっての「聖域」は「アトリエ」です。

毎日が紙との対話です。

毎日が墨との出会いです。

お酒造りも作品作りも毎日が真剣勝負なのです。



室谷文音（むろや・あやね）

昭和55年大阪府生まれ。13歳で単身渡英し、平成18年に両親と共に能登町に移住。内浦長尾にアトリエ「桃花林」を構える。2011年2月に「フードピア金沢2011」で講演。10月には、しいのき迎賓館での展覧会が決定している。



『凧』





過疎化、高齢化に直面しながらも
集落の存続のために挑戦する地域がある。
「何もない」田舎には、里山の恵みと
受け継がれた生活の知恵があった。
春蘭の里の取り組みから、地域再生
のヒントを探る。

上を向いて歩こう

特集

～『春蘭の里』の挑戦～

限界集落は「限界」なのか――

「限界集落」という言葉がある。
人口の50％が65歳以上の高齢者になり、集落機能※1の維持が困難になった集落を指す。限界集落であっても、そこに住む人たちが生きがいと誇りを持って生活している集落は限界ではない。限界という危機感が地域再生の第一歩だ。

過疎地域集落の現状

地域社会を構成する基本的な単位「集落」。国土交通省は、人口減少、高齢化が進む過疎地域※2の集落を対象に、その現状を把握するための調査を平成11年と18年に行っている。

その調査報告書では、二度の調査結果を比較し、全国の過疎地域全体で見られる傾向として①人口減少による集落の小規模化②さらなる高齢化③世帯数の増加（世帯分離と一人暮らし高齢者の増加）④市町村合併による本庁までの距離の増加―など

をあげている。

18年の調査では、過疎地域（11年調査時の過疎地域を含む）の集落数が6万2273。このうち、65歳以上高齢者の割合が50％以上の集落は、約13％（7878集落）を占めている。

集落機能の低下もしくは維持困難と考えている集落は、全体の約15％（8859集落）。高齢者割合50％以上の集落では約40％となっている。

11年から18年までに全国で191の集落が消滅した。18年調査時で、今後10年以内に消滅の可能性のある集落は423集

能登町集落（行政区）別高齢者（65歳以上）割合

	50%以上	50%未満	合計
宇出津地区	5	39	44
三波地区	2	4	6
高倉地区	0	10	10
神野地区	1	4	5
鶴川地区	0	12	12
瑞穂・宮地地区	5	11	16
柳田地区	1	13	14
小間生地区	1	4	5
上町地区	0	9	9
岩井戸地区	1	5	6
松波地区	2	27	29
不動寺地区	1	9	10
秋吉地区	0	4	4
白丸地区	1	6	7
小木地区	0	23	23
合計	20	180	200

※平成22年4月1日現在、住民基本台帳データより引用

※特別養護老人ホームは除く

落とされる。消滅した集落の約半数が11年の調査時に予測されていたいなかった集落で、大部分が自然消滅だったという。

集落で発生している問題では①耕作放棄地の増大②森林の荒廃③空き家の増加④ごみの不法投棄の増加―などが高い割合となっている。

12集落に広がる春蘭の里

15地区に200集落（行政区）が存在する能登町。22年4月1日現在の高齢化率は36・9％で、50％以上の集落は20となってい

る（右表参照）。

町内で最も高齢化率の高い地域は瑞穂・宮地地区。この地域で14年前、限界集落という危機意識を共有した7人が『春蘭の里実行委員会』を結成した。現在は12の集落に農家民宿が30軒開業し、国内外から年間約3500人が訪れている。

12の集落は『春蘭の里』と呼ばれている。『若者が戻ってくる農村再生』を夢見て地域を見つめ直し、宝物を探し続けた14年間。その取り組みは、里山を生かした地域活性化のモデルとして注目を集めている。

過疎地域等の集落における高齢者（65歳以上）割合別分類

	50%以上	うち100%	50%未満	無回答	合計
全国	7,878 (12.7%)	431 (0.7%)	52,104 (83.7%)	2,291 (3.7%)	62,273 (100.0%)

今後の消滅の可能性別集落数

	10年以内に消滅	いずれ消滅	存続	不明	合計
全国	423 (0.7%)	2,220 (3.6%)	52,384 (84.1%)	7,246 (11.6%)	62,273 (100.0%)

※国土交通省が過疎地域市町村を対象に行った、平成18年度「国土形成計画策定のための集落の状況に関する現況把握調査」より引用

※1集落機能…水田や山林など地域資源の維持保全、農林水産業などの生産に際しての草刈りや冠婚葬祭などの日常生活における相互扶助機能

※2過疎地域…過疎対策法（時限立法）によって指定される地域。現在の法律は「過疎地域自立促進特別措置法」。22年4月1日現在776の自治体が指定されている。

※犬の放し飼いは石川県の条例で禁止されています。
表紙・3頁の写真は撮影のため、飼い主の立ち会いのもと特別にリードを外しています。



春蘭の里実行委員会事務局
農家民宿「春蘭の宿」主人

多田 喜一郎さん

ただ・きいちろう（宮地）

共有した危機意識

「10年後、この集落はどうなるんだ。何とかできないか」平成8年に春蘭の里実行委員会を立ち上げた宮地・鮭尾地区の7人は、その5年ほど前から話し合いを重ねていたという。メンバーの一人で、春蘭の里の営業担当を自任する多田喜一郎さん（62）。「集落全体で盛り上げるか、7人でやるかという議論があった。全体の合意には時間もエネルギーも必要。やれる者で引っ張って、いいと思っ

てもらえば入ってくれるだろうという結論に達した」と結成当初を振り返る。

会長になったのは病氣療養のため東京から奥さんの実家がある鮭尾に移住していた中本安昭さん。中本さんは自分の体を元気にしてくれた自然の恵みと水

の大切さをメンバーに訴えた。「昔から地域おこしには『よそ者』『若者』『バカ者』が必要と言われるが、春蘭の里には中本さんという『よそ者』と一途に走る『バカ者』がいた」と多田さんは語る。

「開発されてきた奥能登の山

自分を育ててくれた地域に恩返しをしたい。

『若者が帰ってくる農村の再生』という夢を描き、集落の存続のために立ち上がった春蘭の里。

実行委員会事務局の多田喜一郎さんは、強力なリーダーシップでメンバーを引っ張っている。その原点は、自分を育ててくれた地域への愛情だ。

の中で、生き残ってきた『春蘭』のしづとさ、粘り強さ、きれいさに思いを込めて『春蘭の里』に決めた」

農家民宿という選択

最初は農産物の販売で1億円の売り上げを目指したがうまくいかなかった。

「売るのではなく、田舎にあるものを食べてもらおう」と考え、一番条件の良かった多田さん宅を改装。民宿『春蘭の宿』が開業した。

多田さんが目指した民宿の特

徴は、▽一日一客▽輪島塗の膳▽手作りのほし▽地元産の食材▽化学調味料を使わない―など。お金をかけるのではなく、こだわりを持つことで付加価値をつけようと考えた。

「民宿の原点は『さんなみ』さんと富山県利賀村。ほかにも全国を見て回り、良い所は徹底的に取り込むようにしている」

現在は瑞穂地区を含めた12集落に30軒の農家民宿が開業。200人を受け入れる体制が整っている。

「民宿の売り上げを月40万円にしようという目標を掲げている。40万円あれば都会に出た子どもたちが戻ってこれる。今年教育旅行や修学旅行で訪れた学校は町内から中国まで11校。目標の40万円を超える民宿も出てきてメンバーの意識も変わってきたようだ。年間20校を受け入れ、個人客も増えてくれば十分やっていける」と手応えを感じている。

教育旅行など団体の場合の料金は8500円で統一している。農家民宿としては安くない金額だ。「価格を下げて心がこもらなくなったら意味がない。

子どもたちに春蘭の里での思い出をお土産として持ち帰ってもらう。そのための8500円なんだとメンバーに話している」。

原点は地域への愛情

「最初から行政の補助を頼った地域づくりは伸びない」と多田さんは考えている。「春蘭の里は行政に頼らないところから始めたのでこれまで続けられた。行政は本気度を見ている。そして本気で取り組むことで行政との接点はできてる」との言葉どおり、春蘭の里の活動に付帯した、国や県の関連事業が数多く入っているという。

14年間、春蘭の里を引っ張ってきた多田さんには一つの思いがある。

「若くして父親を亡くした自分を地域が育ててくれた。大きくなったら地域に恩返しをしたいとずっと思っていた」

多田さんの地域への愛情と行動力で地域がまとまった。たくさんさんの仲間、協力者も集まっている。14年前、7人がゼロから描いた『農村再生』という夢に、今、一歩一歩近づいている。

春蘭の里14年の軌跡

平成8年	平成9年	平成14年	平成15年	平成16年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	その他
春蘭の里実行委員会結成（7人） 農産物の商品開発 春蘭の育成 商標登録の取得 イメージソング作成 米穀販売業店「春蘭の里」開始 清酒「春蘭の里」	民宿「春蘭の宿」開業 他地域との産物販売開始（山菜・林産物） 春蘭の里ロッジ完成 春蘭の里構想に賛同した5人が17畝の土地購入	菓子製造業取得 農産物加工業の許可取得 第2ロッジ完成	石川グリーンツーリズム促進特区認定 農家民宿4軒、市民農園3戸開業 グリーンツーリズム奥能登全国大会受け入れ	水車小屋完成	地域づくり全国大会受け入れ 自然石池水路完成 小形風力発電完成 閉校した宮地小学校が宮地交流宿泊所「みふし」として完成 親水公園（宮地川）完成 炭焼き窯完成 例まちむら機構の農村漁村農家民宿に係る取り組み事例十選に選定	伝統芸能「みのむし祭り」の復活 半島地域づくりフォーラムで能登農家民宿10軒開業	農林漁家民宿おかあさん百選に選定	中目農業賞受賞 農家民宿15軒開業（合計30軒）	エンデバーファンド21助成（平成8・9・18年）

『農家民宿』という選択

「何もない田舎」の魅力を引き出す『地元学』

地域の魅力を再発見する手法の一つ「地元学」を提唱・推進する竹田純一さん。本年度から林野庁の森林総合利用推進事業で春蘭の里に入り、里山林をどのように生かすかという調査を進めている。今回、調査のために来町した竹田さんに春蘭の里、そして地元学について聞いた。

【PROFILE】たけだ・じゅんいち

1960年生まれ、中央大学法学部卒後、金融機関、英国技術開発シンクタンク、市民団体を経て、里地ネットワーク事務局長、山村再生支援センター事務局長。また、内閣官房地域活性化伝道師、環境省こどもホタルエンジャー審査委員、田園自然再生活動コンクール審査委員、石川県生物多様性戦略検討委員を兼務。東京農科大学学術研究員。

NPO 法人 共存の森ネットワーク理事

竹田 純一さん



― 地元学とは。 ―

地元学の目的は、地元の「今の姿」を把握し、記録することです。しかし、今の暮らしはどのような暮らしなのか、生活文化の厚み（お金で買えない技や知恵）はどのようなかということとは、そこに暮らししている人だけでは分からない部分もあります。

そこで、わたしたちのような外部の人間の目を入れて、地元の人と一緒に地域を再評価するのです。例えば▽囲炉裏のある暮らし▽自分の家に水源を持つていること▽まきでお風呂をたたくこと―などの自給する暮らしは、都会にはほとんどありません。地元では当たり前のことでも都会の人は知らないのという質問します。その一つ一つが資源であるということに地元の人が気づくのです。

若い人がいない。帰って来ない。高齢者が病気などになって家を閉じていく。全国的に多くの集落が限界に向かっていきます。逆に言うと、地域の活性化とは若い人が来ること。帰ってくることです。

そのきっかけとして地元学をやって、いろいろな人と一緒に

地域を見つめることも一つの方法だと思っています。集落を開き、外の人を受け入れることができるかどうかだと思います。

― 春蘭の里での事業展開は。 ―

わたしが事務局を担当している林野庁の森林総合利用推進事業の全国公募の中に春蘭の里がありました。後継者の回帰と集落存続のために、里山の幸を生かした農家民宿とツーリズムに取り組む春蘭の里は、全国的にも重要で注目すべき地域として選定されました。

具体的には「恵み多い里山林づくり」を目指し▽どういう管理をしたらキノコや山菜が出てくるか▽食材や産品をどのように生かすか▽里山林を支える里の暮らしを評価し環境を整える方法―を検討していきます。

9月から、32軒のキノコ山に条件の異なる10の実験地を設け、二日に一回キノコの発生状況調査を行っています。

キノコや山菜が一覧としてデータ化されれば、農家民宿の食の提供に生かすことができます。春蘭の里のコンセプトは、地元の素材にこだわっていることです。里山林からの恵みが一

年を通してあれば、これをさらに徹底することができます。

さらに、各農家民宿を中心に暮らしを調査して地域資源を掘り起こします。この地域の生活文化を学びながらまるごと体験できるプログラムが、どこでどのようにできるのかをマップに落とし一目で分かるようにします。

また、里地の維持管理のための保全活動をツーリズムと結びつけて保全型プログラムを作ることも一つのアイデアです。高校生や企業の社会貢献活動（CSR）を呼び込み、地域課題を外部との交流によって解決する試みです。

里山林と里地が手入れされた姿は、都会の人たちにとっても魅力的です。忙しい都会生活での疲れを癒すため、心安らぐ時間を過ごしに来るでしょう。能登の農家のたたずまいは強みです。豊かな環境を意識した情報発信や集客ができます。

春蘭の里は、これまでもすばらしい取り組みを続けてきました。それに磨きをかけることで、この地域をさらに輝かせたいと考えています。

能登の農家の姿を ありのままに見せたい。

春蘭の里に農家民宿が誕生してから13年が経過した。現在は30軒まで増加し、団体旅行の受け入れ体制も整っている。「一日一客」。地元の食材にこだわる農家民宿は、古里を求める都会人の受け皿を目指す。農家民宿の魅力、苦勞、そして課題を「満作の宿」主人、松井三代治さんに聞いた。



春蘭の里実行委員会副会長
農家民宿『満作の宿』主人
松井 三代治さん
まつい・みよじ（鮭尾）

囲炉裏を囲むぜいたく

「一番楽しいことは、いろいろな人と話ができること。一番大変なことも人との会話」と話す松井三代治さん（64）。

春蘭の里が石川県のグリーンツーリズム推進特区に認定された平成15年、農家民宿『満作の宿』を開業した。この時開業したのは松井さんを含め4軒。「来訪者が増えると1軒だけでは対応できない。できるところだけでもやろう」と仲間同士で話し合ったという。

最初は宿泊だけの許可。16年から飲食業許可を受け、食事の提供ができるようになった。「素泊まりだけではほとんど人が来なかった。どうせやるなら料理を出してもてなしたい。ダメでもともと。とにかくやってみようという気持ちだった」と当時を振り返る。

食事の提供でお客様も入るようになった。もともと人と話をするのが好きな松井さん。食材について聞かれたり、農作業のことを話したりと囲炉裏を囲んだ会話も充実していった。

般の大人なら99割残さず食べてくれる」という。

「先日調査に来た竹田先生には数も量も多すぎると指摘された。もう少し食べたいくらいがちょうどいいと言われたが、その加減は難しい」と苦笑いする。食材からすべて、手間暇かけて作られていることが伝わる料理。そこには農家民宿ならではのものなしがある。

体験で何を伝えるか

農山漁村で自然、文化、交流を楽しむグリーンツーリズム。春蘭の里でも、農家民宿それぞれが季節ごとに特徴ある体験を用意している。

満作の宿では、松井さんが得意とする米作りや炭焼き、山仕事の体験などを希望する人に提供している。

「体験で一番大切なことは安全管理」と松井さんは言い切る。「安全管理にこだわり過ぎると何もできないという人もいるが、何かあってからでは遅い。常に安全第一を考えている」。

体験を始めたころは、ただ作業してもらえばいいと考えてい



地元産と季節の旬にこだわる約15種類の田舎料理が、輪島塗の御膳に並ぶ満作の宿の料理

手間暇かけた田舎料理

春蘭の里で提供される料理のコンセプトは▽キノコ、山菜、野菜など地元産の食材にこだわる▽輪島塗の膳▽手作りのほしーなど。季節や宿によって食材は変わっても、内容はほぼ統一している。満作の宿でも同様だ。

「特別なことはできないし無理もしない。お母さんが今まで作ってきた田舎の料理をそのまま出している」ということだ。

春、夏は山菜。秋はキノコ。冬は塩漬けた保存食が食材の主となる。それにヤマメ、ゴリ、ホンモロコなどの川魚を主人が囲炉裏で焼く。「都会の人が食べたことのない食材も多い。一

たが、その考えは改めたという。

「例えば農作業の体験では、苗を手で植える意味。はだしで田んぼに入るのはなぜか。作業の前や後にはどんな工程があるかなどをしつかり説明して、米の大切さを分かってもらうことに意味がある。体験を通じてそういったことが伝わるようなプログラム作りが重要だと分かった。今ある体験メニューをもっと中身のあるものにして、能登の農家のありのままの姿を見せたい」

農家民宿が増えたことで団体の受け入れは進んでいる。今年は中国からの教育旅行7回を含む11校が入ってきた。しかし、その期間は夏に集中。安定した収益のためには、一年を通していかに個人客を呼び込むかが課題だ。

「事務局に入ってくるお客さんを待つだけではなく、自分たちで『リピーター』として来てもらう努力が必要。自分が元気なうちに、次の代に引き継げるような基礎を作りたい」

夫婦二人三脚で7年目を迎えた『満作の宿』。松井さんの新たな挑戦が始まっている。

ホンモロコを能登町と 春蘭の里の特産品に――

農家民宿の食事で提供されるホンモロコという淡水魚。
『三平』の主人、山崎増雄さんは、「能登町健康魚・あす
なるモロコ生産組合」の一員としてホンモロコの養殖に
も取り組んでいる。

ホンモロコは、もともと琵琶湖の固
有種で、関西地方で食されていた。
近年、外来魚の増加により琵琶湖のホン
モロコが激減。水産資源の確保のため、
各地で養殖が行われるようになった。

「きれいな水さえあれば養殖ができる。
春蘭の里のお土産や能登町の新しい特産
品にしたい」と話す山崎増雄さん（62）
は、柳田地区の有志らが平成18年に設立
した『能登町健康魚・あすなるモロコ生
産組合』に翌年から参加。民宿前の田ん
ぼを利用してホンモロコの生産に乗り出
した。21年にはエンデバーファンド21の
助成を受け、民宿前の倉庫を改造した加
工施設も整備された。

「つくだ煮のような、保存ができて味
も良く、付加価値の高い加工品を作る。
試作品の評判は良かった」と語るが、課
題もあるという。「当初は県の内水面試
験場から稚魚を提供してもらい生産量も
多かったが、採算を考えると自分たちで

ふ化させなければならない。これが予想
以上に難しく安定した生産につながらな
い状況。朝起きて酸欠で大量に死んでい
たときは涙が出そうだった」と振り返る。
春蘭の里などの需要に応えながら、加
工品にまわせるだけの生産量を確保する
ための試行錯誤が続いている。

農家民宿『三平』の開業は『満作の宿』
と同じく平成15年。特区認定のときに宿
泊業の許可を受けた。

「もともと田舎の家は三世代同居が前
提で、冠婚葬祭もできるような大きい。将
来、夫婦二人だけでは大き過ぎるし、こ
の家を地域おこしに活用できるならやっ
てみよう」と開業を決めた。

「集落に観光バスが2台来たとき『やっ
て良かった』と感動した。こんなへき地
に観光バスが来るなんて夢のような話。
それが農家民宿で現実となった」

自営業、農家民宿、ホンモロコ。山崎
さんの多忙な日々は続く。

【ホンモロコ】コイ科コイ目バルブス亜
科タモロコ属の淡水魚。寿命は2-3年
で体長は12-3センチまで成長する。日本産
コイ科の魚類の中で最も美味とされる。

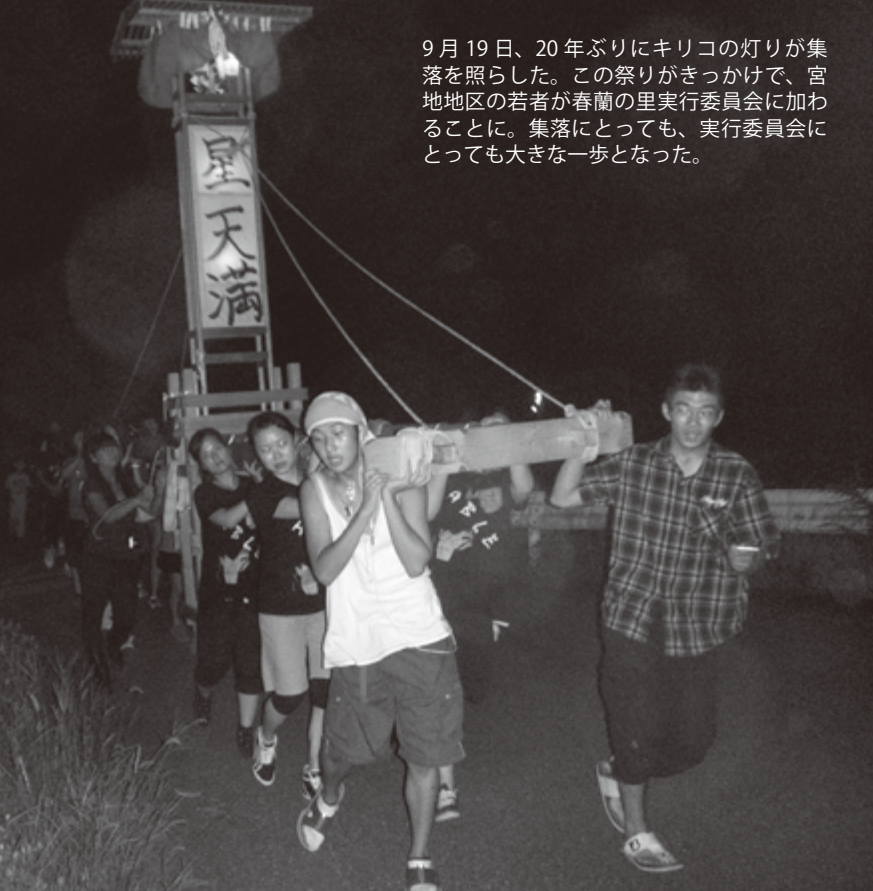


農家民宿三平 主人
山崎 増雄さん
やまざき・ますお（本木）

『地域再生』の鼓動



親水公園でヤマメのつかみ取りを
体験する流山市（千葉県）の児童



9月19日、20年ぶりにキリコの灯りが集落を照らした。この祭りがきっかけで、宮地地区の若者が春蘭の里実行委員会に加わることに。集落にとっても、実行委員会にとっても大きな一歩となった。

『こぶし』の利用者は年々増加している。昨年の利用者は約2000人。本年度はさらに増える見込みだという。

「こんな何もない田舎に観光バスが3台も並びます。その様子を見て地域の人たちも喜んでくれるようです」と蔭田さんは目を細める。

『こぶし』は、春蘭の里を訪れる人との交流だけではなく、地元の人や地元出身の人たちの交流の場にもなっている。

「今年は卒業生が3回、同窓会に使ってくれました。大阪から2、3カ月に一度宿泊に来て、ボランティアで花を植えたり草刈りをしてくれる卒業生もいます。古里に家がなくなった卒業生にとっては、帰る場所ができたと感じる人もいるのではないのでしょうか」

交流の場であり、憩いの場でもある『こぶし』。人が集う地域再生のシンボルとして、春蘭の里構想の一翼を担っている。



NPO 法人コブシ理事長
蔭田 信雄さん
かげた・のぶお（柏木）

閉校した校舎を

地域再生のシンボルに――

平成18年、宮地小学校の校舎が宮地交流宿泊所『こぶし』として生まれ変わった。春蘭の里が展開するグリーンツーリズムの拠点として、地域再生のシンボルとして、『こぶし』は大きな役割を果たしている。

ツーリズムの拠点が完成

「どうすれば校舎を残すことができるか」

平成14年3月に閉校した宮地小学校。その校下4集落の代表は、16年ごろから校舎の利活用について協議を始めていた。

当初、高齢者向けの介護施設が検討されていたが、予算や採算を理由に断念。建物所有者である町と協議を重ねた結果、簡易宿泊施設として整備することが決まった。

農林水産省の補助事業採択にあたっては、春蘭の里が展開す

るグリーンツーリズムの存在が大きかったという。

4集落は、施設を管理するためにNPO法人コブシを設立。安定した維持管理費用を確保するため全10部屋を「オーナー制」で運用することに決めた。

「オーナーには月々の料金を払ってもらい、部屋を管理してもらいます。宿泊が入ればマージンとして戻る仕組みです」と話すのはNPO法人コブシの蔭田信雄理事長（73）。蔭田さんは20年に、初代理事長の篠原正



『こぶし』の体育館でキリコの組み立てを体験する菊川小学校（金沢市）の児童。指導するのは、堂坂副理事長。

信さんから受け継いだ。「校舎がよみがえったのは地域がまとも、思いが一つになったから。皆さんをまとめた篠原さんの功績は大きい」と振り返る。

古里に帰る場所ができた

春蘭の里との相乗効果もあ

20年ぶりのキリコ祭り

『こぶし』の体育館には、宮地地区の祭礼で使用されていたキリコや体験用のキリコなど6本が並んでいる。

このうちの1本が、9月19日の祭礼で御輿と共に集落を回った。宮地地区にとつては20年ぶりのキリコ祭り。キリコを担いだのは、春蘭の里にインターンシップ（就業体験）で訪れているホスピタリティーツーリズム専門学校（東京都）の生徒だった。お世話になった地域に恩返しをしたいと祭りの日に14人が来町したという。

「キリコが立ち寄った家では、喜んで酒を振る舞って盛り上がったいました。数少ない地元の若い人も外に出てきて、うれしそうにキリコを担いでいたのが印象的でした」と振り返る蔭田さん。

『こぶし』でのキリコ担ぎ体験が祭りの復活につながりました。反対もあるかもしれませんが、一生懸命やることで良いことが見えてくるんです」と決意を新たにしている。

キリコ祭りの復活を見て、集落の再生を感じました。

わたしが春蘭の里に初めて訪れたのは8年前。皆さんに迎えてもらっていろいろ話を伺いました。このとき「何もない所がいい所なんだよなあ」という言葉に『地域の人たちがその良さに気づいている』と感動し、そのまま仲間に加えてもらいました。顧問という肩書きですが、地域が持続しながら活性化する姿を勉強させてもらっています。

春蘭の里は、千葉県で育ったわたしにとって古里になりました。今では、お姉ちゃんに会いたいという息子と一緒に春蘭の里に里帰りしています。こ

こで学んだこと、受けた感動を今後の仕事に生かすことが、皆さんへの恩返しだと思っています。

キリコの復活にも立ち会いました。笛の音、鐘の音を聞いた集落の人が笑顔で出てきていました。キリコは小さかったけれど、集落にとってすごく大きな一歩を踏み出したような感動に包まれました。

地域のやる気が専門家などいろいろな人を引きつけています。新しい農村のスタイルを作りだそうという春蘭の里の挑戦は、次の一歩に向けて走り出したのではないのでしょうか。



春蘭の里実行委員会顧問
瀬川 徳子さん
せがわ・のりこ（金沢市）

お世話になった 皆さんの力に なりたいたい。

春蘭の里は、観光分野を学ぶ専門学校のインターンシップ（就業体験）を受け入れ、交流を深めている。将来、旅行業界で働く人材とのつながりは大きな力。その中から、能登で働きたいという若者が生まれた。



春蘭の里実行委員会事務局

汪 銘皓さん

ワン・ミンハウ（台湾出身）

「海」

のイメージがあった能登半島。初めて春蘭の里に来たときは、携帯電話も通じない山の中でびつくりしました」と話すワン・ミンハウさん（28）。観光業界で働く人材を育てる東京のホスピタリティツーリズム専門学校の留学生として、平成20年の夏休み1カ月を春蘭の里で過ごした。

19年からインターンシップを受け入れている春蘭の里。学生らは『こぶし』で共同生活を行いながら、春蘭の里の一員として活動する。

都会にいない必要はない

「地域の皆さんが本当に温かく迎えてくれて、日本語や日本の文化を学ぶことができました。研修仲間とも強いきずなができ、とても楽しかったですね」と研修期間を振り返る。

ワンさんは、翌年の研修も春蘭の里を希望。周りの学生も誘ったという。「春蘭の里の一番の良さは『人』です。ここに来てもらい、滞在してもらえば必ず分かってもらえます」。『こぶし』を利用することで学生らの経済的負担は少ない。さらに学校側からも『春蘭の里

【PROFILE】 ワン・ミンハウ

1982年台湾生まれ。国立のホスピタリティカレッジを卒業し、1年間の兵役を経て、日本に留学。台湾と日本の添乗員資格を持つ。2010年4月から春蘭の里実行委員会事務局に就職。

ホスピタリティ ツーリズム専門学校

観光・サービス業団体から推薦・支援される専門学校。旅行科やホテル科など7科を設置し、留学生制度も備える。これまでに約32,000人が卒業し、各業界で活躍する人材を輩出している。

現在は、春蘭の里実行委員会事務局として、宿泊の受け入れや会員間の連絡、顧客とのメールのやりとりなどの仕事をこなしている。

「春蘭の里で研修をして観光業に就職した仲間たちがいます。彼らはまだ新人ですが、これからその効果が出てくるでしょう。ホスピタリティツーリズム専門学校の卒業生として、春蘭の里の一員として、この関係がこれからも続いてほしいと思っています」

台湾と東京で観光業を学んだワンさん。その知識と経験は、春蘭の里のこれからを支える。

『里山イニシアティブ』

「里山では、人が手を加えることで生態系を維持することができる」。10月に名古屋で開催された生物多様性の国際会議で、日本政府は自然との共生モデルとして「里山イニシアティブ」を提唱。「SATOYAMA」が世界へアピールされた。里山を保全し、その恵みを生かす春蘭の里の活動は「里山イニシアティブ」そのものではないだろうか。

春蘭の咲く里山を

「里山はほったらかしでも、人の手が入りすぎてもダメ。適度に手入れされることがキノコにとつて良い環境なのです」

中本安昭さん（73）は、春蘭の里の取り組みの一つである里山保全の中心人物だ。「子どものころから一人で山に入つてキノコを探っていました」と話す中本さん。中学校までは岐阜県奥飛騨地方で過ごした。35年前、病氣療養のために奥さんの古里である鮭尾に。そのままここで暮らすことを決めた。「こつちに来てから病院に行つてません。水と空気が良いからでしょうか」とほほ笑む。

春蘭の里実行委員会の最年長で会長を務める。「春蘭の里」のネーミングは中本さんの案だという。「良い環境の里山には春蘭が自生します。春蘭は里山のバロメーターなのです」。

本格的キノコ調査を開始

キノコや山菜も地域の大切な資源の一つとして考え、里山の

保全活動が続けてきた春蘭の里。本年度から林野庁の事業を受けて、キノコ博士・赤石大輔氏（NPO法人能登半島おらっちやの里山里海研究員）のもと調査研究が実施されている。

「20区四方の10区画を選んで整備をし、二日に一回のペースで記録係と一緒に調査しています。調査では、いつ、どこで、どのようなキノコが出るかをGPS機能付きのカメラで撮影し、データとして残す作業をしています。調査区域では約100種類のキノコがあり、食用は約1割というところです」

本格的なキノコ調査を行っている場所は多くない。調査を継続してキノコの写真とデータがそろえば、体験でのアピールや農家民宿での計画的な提供など活用の幅は大きく広がる。「毒キノコも必ず記録しています。キノコ料理を提供する民宿にとつて、一番重要なことはキノコ中毒を出さないこと。猛毒もあれば一部の人にだけ毒になるものがあります。わたしも民宿ももつと勉強して、キノコ狩り体験をする人に教えられるようにならなければいけません」

先駆的里山保全地区・里山里海ミュージアム

県内先進地としての支援

石川県では、住民が意欲的に里山の保全活動をしている地域を応援しようと「先駆的里山保全地区」として春蘭の里を含めた7力所を選定しました。

本年度は、里山を一つの博物館として見立て、暮らしや生業、歴史・文化などの地域資源を発信する「里山里海ミュージアムプロジェクト」を珠洲市北部地区と春蘭の里で実施しています。

生物多様性の向上のためには、里山の保全が非常に重要ですが、一方で過疎化や高齢化の問題があります。ミュージアムでは、地域の人が「里山学芸員」として里山の魅力を紹介し、訪れた人が一緒に



石川県自然保護課のりまさ
とが 梅 典雅さん

保全活動に参加する仕組みづくりを検討します。

農家民宿やツーリズムで里山を利用保全することが、交流人口の増加や新しい産業の創出など地域の活性化につながればと思っています。

県では、里山を利用しながら保全する「利用保全」をキーワードにしています。春蘭の里のキノコ山の整備が、まさに里山の利用保全です。

キノコ山を整備することで食材として使えるキノコや山菜が増える。そして里山は生物多様性の豊かだった昔の姿を取り戻すのです。

県としては、ほかの地域が取り入れられるような成功事例・モデル地域を作りたいと考えています。春蘭の里は、里山保全活動やグリーン・ツーリズムの県内先進地です。今後さまざまな角度から春蘭の里を応援していきたいと思っています。

持続可能な里山に

中本さんは、里山管理の新しい形を作りたいと考えている。「キノコを見つけると小さいものまで採ってしまう人が多いのは、ほかの人に採られたくないと思うからです。みんなで恵みを共有すれば、これはまだ採らないとか、残そうということができます。これが持続可能な里山の管理なのです。里山にはキノコや山菜以外にも食べられるものがたくさんあります。計画的に植樹をして四季の変化を楽しめる森にすれば森林療法も可能でしょう。やりたいこと、可能性はたくさんあります」

子どものころから里山と共に生きてきた中本さん。里山への強い思いと豊富な知識は、春蘭の里の大きな力となっている。

春蘭が自生する 持続可能な 里山を目指す。

里山の恵みといえばキノコと山菜。春蘭の里は現在、32畝の里山をキノコ山として整備している。本年度からは林野庁の事業でキノコの本格的な調査も始まった。実行委員会会長でキノコ山調査を任される中本安昭さんに、春蘭の里が目指す里山の姿を聞いた。



シモオコシ (11月12日撮影)

春蘭の里実行委員会会長

中本 安昭さん

なかもと・やすあき（鮭尾）



キノコ山を散策する視察団

生物多様性と里山

生物多様性条約の締約国が2年ごとに集まり国際的な枠組みを決める会議が10月11日から約3週間、名古屋市中で開催された。世界179カ国から約1万3000人が参加したCOP10（生物多様性条約第10回締約国会議）。そのエクスカージョン（視察）が石川県でも実施され、10月23日から二日間、18カ国52人の視察団が石川県内の生物多様性に対する取り組みを視察した。

COP10（生物多様性条約第10回締約国会議） エクスカージョン 春蘭の里

今回の視察では、生物多様性の観点からも世界が注目する「SATOYAMA」の代表として、春蘭の里が紹介された。

温かいもてなしに高い評価

春蘭の里では、長龍寺でセミナーを行ったあと昼食。午後からはキノコ山の視察とこぶしの見学が行われた。同行した石川県自然保護課の榎典雅さんは、キノコ山の視察について「日本は世界的に見てもキノコの種類が多いが、これは木の種類も多いということ。キノ



清龍坊での昼食を準備する地域の皆さん。春蘭の里で収穫された山菜やキノコ料理を輪島塗の器に盛りつける。漬け物、酢の物、煮物、天ぷらなど8品を用意。地元の食材を使った料理の評価も高かったという。

ノコは生物多様性においても重要な役割を担っている」と話す。参加者は、春蘭の里のメンバーに質問しながら秋の里山を散策し、自然と共生する日本の農村の姿に感心しているようだった。

視察終了後に県が行ったアンケートでは、47人中34人が一番良かった視察先として春蘭の里をあげた。「素朴だが心のこもったもてなし（ホスピタリティ）」への評価が高く、榎さんは「結果は良かった。世界の人に春蘭の里を知ってもらった意義は決して小さくない」と成功裏に終わった視察を振り返った。

【のと愛菜市場】写真下

宮地・鮭尾・太田原・柏木の住民20数人が共同で運営する農産物直売所。5月から11月までの土・日・祝日、午前9時から午後6時まで営業。

倉庫を改造した店内には、会員らが育てた米や野菜のほか、里山の恵みである山菜・キノコ・ジネンジョ、のと夢づくりで加工した梅干しや漬け物など、この地域で生産されたものを低価格で販売している。



里山の恵みを 高齢者の 生きがいに



【のと夢づくり】写真上

平成17年、地元の要望を受けて町が建設した農産物加工施設を、農事組合法人のと夢づくりが指定管理者として管理・運営する。主な加工品は山菜や野菜の漬け物、梅干し、赤飯、みそなど。

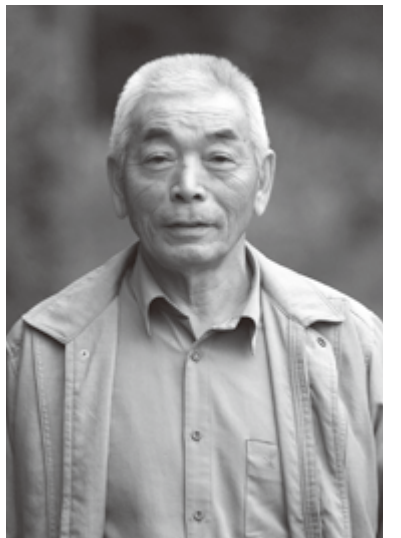
週に一度、施設に集まって漬け込んである野菜を真空パックに詰めて商品化している。のと愛菜市場や「なごみ」、JAおぞらの青空市場（穴水町）などに出荷。

の と愛菜市場は平成13年、 能登空港開港前に何か地 域おこしができるのかと地元 有志26人が始めました。

今までは、作りすぎた野菜や採りすぎた山菜・キノコなどは人にあげるか捨てるだけでしたが、直売所があれば少ないながらもお金になります。出荷する高齢者にとって、野菜作りやキノコ採りは、生きがいになっているのではないだろうか。

特にキノコは野菜に比べて値段も高い。普段は足が痛いと云っている人も、キノコの時期には里山を走り回っています。

現在は土・日と祝日に輪番制で二人が店番をしています。お客さんと話をしながら、食材の食べ方を教えたり、教えられたりすることも楽しんでいるよう



のと愛菜市場 会長
農事組合法人のと夢づくり 理事

藤田 三喜男さん

ふじた・みきお（柏木）

です。売り上げの計算もあり、「楽しみながらボケ防止につながるこれが一番だ」といつも会員に話しています。

直売所では、作りすぎた野菜や漬け物なども販売したいと考えましたが、加工場と各種の許可が必要でした。町政懇談会で町にお願いしたところ、加工場を整備してもらうことになり「のと夢づくり」を設立しました。「とにかく10年頑張ろう」と声を掛け合って続けてきて、10年が立ちました。メンバーのほとんどは70歳以上、80歳代の人です。高齢化は深刻ですが、それぞれ生きがいを持って自分の得意分野で頑張っています。地域の高齢者が元気に暮らすことができるのは、里山の恵みがあるからだと思っています。

春蘭の里の夢、 そして新たな挑戦

自分たちがやってみせることで 地域全体をプラス思考に――。



春 蘭の里は、限界集落では
ありません。なぜなら、
この地域には元気な高齢者が多
いから。元気な高齢者が春蘭の
里の地域資源なのです。

昔からの生活文化を知ってい
る。地域の伝説や伝承を語るこ
とができる。野菜作りの名人。
キノコ採りの名人。能登の田舎
で培われた高齢者の知恵こそ
が、どこにもないこの地域だけ
の財産だと思っています。

かつてる人は多くありません
が、失われてしまう前に能登半
島全体で対策を講じるべきだと
思っています。

田 舎がこれから生き残って
いくためには、都会と田
舎をマッチングさせるしかあり
ません。都会の人を農家民宿で
呼び込むことが、能登の一次産
業の発展につながるし、一番の
近道だと考えています。

農家民宿はこの地域の本物を
提供することにこだわっていま
す。C O P 10の視察でも高い評

価を得られたことで、新しく
入ったメンバーも自信を持ち始
めました。

これまでの成果を見ても、農
家民宿という選択は間違いでは
なかったと確信しています。

あとは、息子たちが帰ってこ
れるように月40万円の売り上げ
を確保することです。都会の人
で民宿をやりたい人でもかまい
ません。この地域に若者が戻っ
てくる基礎を作ることが、集落
の存続につながるのです。

現在30軒の農家民宿が、ほか
の地域にも広がってほしいと考

えています。当日や中斉、神野
地区などは宮地から車で10分ほ
どで、立派な家がたくさんあり
ます。この地域であと10軒から
15軒くらい増やせば面白くな
るのではないのでしょうか。

さらにグリーンツーリズムの
海版も可能です。それには恋路
の民宿群が一番適していると思
いますし、能登町のグリーン
ツーリズム協議会で話をしてい
こうと思っています。

地 域全体をまとめるには、
まず自分たちがやってみ

せて結果を残すことが重要で
す。成功事例を示すことで、今
度はこれをやれば面白いじゃ
ないか。次はあれをやれば楽し
いんじゃないかと地域全体がプ
ラス思考になります。ほかの地
域のモデルとして、一つの方向
性を示すこともできます。みん
なが楽しみながら地域おこしに
参加するようになるのです。

マイナス意見や批判もありま
すが、わたしたちは言葉でつぶ
されたくはありません。農村再
生を信じて、前向きに、プラス
思考で進んでいきます。

のと愛菜市場でお客さんを迎える
山本さかのさん(柏木・写真左)と
堂谷節子さん(宮地)。



【取材を終えて】

春蘭の里の皆さんは輝いて見
える。まだまだメンバーのボラ
ンティア精神に支えられている
部分もあるが、やっている本人
たちが楽しんでるから、自然
と笑顔が出るのだ。

能登半島のどこにでもあるよ
うな中山間地の集落。決して特
別な場所ではない。よそ者を受
け入れること、地域を引っ張る
リーダーの存在が春蘭の里を地
域づくりの先進地にまで成長さ
せた。

仕事がない。遊ぶ場所がない。
能登で『ない』ことを探すのは
簡単だ。でも本当に『何もない』
のだろうか。都会に『ない』も
のが、実はたくさん『ある』の
ではないだろうか。

マイナス思考ではなくプラス
思考の頭で、ちょっとだけ視点
を変えて自分たちの地域を見て
みる。そこにはきつと宝の原石
が転がっている。どうやって原
石を磨くのか。春蘭の里の思い
と歩みに、そのヒントがあるの
かもしれない。

足元をしっかり見つめ直して
から、上を向いて歩こう。笑顔
あふれる地域のために――。(終)



10月24日に執行された能登町議会議員選挙後、初めての議会が11月8日に開かれました。議長、副議長や各常任委員会など新しい議会組織が決まりました。



議長に久田良平氏 副議長に奥成壮三郎氏が就任



このたび副議長の大役に就任させていただき、身に余る光栄であると同時に責務の重大さを感じております。

もとより微力ではございますが、議長を補佐し地方自治の発展と町民福祉の向上と議会運営を民主的に行えるよう最善の努力を尽くす所存でございます。

なにとぞ今後ともご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

能登町議会副議長 奥成壮三郎

このたび、議員各位のご同意を受けまして能登町議会議長の要職に就くことになりましたこと、誠に身に余る光栄でございます。

私は、自らの浅学非才を顧みまして責任の重さを一層痛感いたしております。能登町の発展、町民福祉の向上のために、議会運営を民主的に公正無私の立場を堅持し、最善の努力を尽くす所存でございます。

よく言われます、議会と行政との関係につきまして、「二歩近づき、一歩離れている」が私の政治信条であります。

なにとぞ先輩、同僚の皆様方そして町民の皆様方のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

能登町議会議長 久田良平

新しい議会組織 (○委員長 ○副委員長)

■常任委員

・総務常任委員 (6人)

○向峠茂人 ○國盛孝昭 椿原安弘
奥成壮三郎 宮田勝三 鍛冶谷眞一

・教育民生常任委員 (6人)

○南 正晴 ○市濱 等 金七祐太郎
久田良平 新平悠紀夫 大谷内義一

・産業建設常任委員 (6人)

○酒元法子 ○小路政敏 河田信彰
志幸松栄 山岸昭夫 鶴野幸一郎

■議会運営委員 (6人)

○新平悠紀夫 ○鶴野幸一郎
椿原安弘 奥成壮三郎 志幸松栄
大谷内義一

■奥能登広域圏事務組合議会議員

(2人)
新平悠紀夫 大谷内義一

■奥能登クリーン組合議会議員 (6人)

市濱 等 酒元法子 河田信彰
南 正晴 奥成壮三郎 山岸昭夫

■のと鉄道運営助成基金事務組合議会議員 (1人)

鍛冶谷眞一

■能登町監査委員 (議会選出議員)

(1人)
椿原安弘

■広報編集特別委員 (6人)

○國盛孝昭 ○金七祐太郎 市濱 等
小路政敏 山岸昭夫 鍛冶谷眞一

秋の叙勲・褒章

平成22年秋の叙勲・褒章で、能登町から高義雄さん（松波）と竹西フミ子さん（同）の二人が受章しました。

瑞宝双光章

高 義雄さん

たか・よしお（70）＝松波＝



「受章を聞いてとにかく驚き、言葉にできない感動でした」と受章の喜びを語る高義雄さん。昭和43年6月に松波で「高歯科医院」を開業。松波地区唯一の歯科医として、地域の歯科医療に尽力してきた。

44年から現在までの41年間は、小中学校の学校歯科医としても児童生徒の健康管理に努めている。「虫歯予防には幼少期からの教育が重要」と訴え、役場と協力して保育園児の歯科検診にも積極的に取り組んできたという。

「病気で休んだことは一回もありません。信頼してくれる患者さんのためにも、体が健康な限り地域のかかりつけ歯科医として頑張りたい」と決意を新たにしている。

藍綬褒章

竹西フミ子さん

たけにし・ふみこ（75）＝松波＝



「27年間、地域の皆さんに助けていただきながら、無事に勤め上げたご褒美だと思っています」と話す竹西フミ子さん。昭和58年12月1日から本年11月30日までの27年間、町の民生・児童委員として地域の高齢者や子どもたちを見守ってきた。

平成13年から内浦町の協議会長、合併後も能登町の会長を務め、19年からは石川県民生委員児童委員協議会長を女性として初めて歴任。指導的な立場で民生委員活動を推進してきた。

「健康で家族の協力がなければできない役職でしたが、高齢者の笑顔に支えられ走り回った27年でした。これからは、今までできなかった趣味を再開したいですね」と笑顔で話してくれた。

パラボラアンテナを設置すると こんなにもチャンネルが増えます

【BS デジタル放送】

現在のBS デジタル放送のチャンネル				+	2011 年 10 月以降追加されるデジタル放送			
チャンネル名			備 考		チャンネル名			備 考
1ch	NHK	BS1	 ※ NHK 衛星契約が必要 ※ NHK BS 放送は 2011 年 4 月からハイビジョン 2 チャンネル構成に変更		WOWOW 新規 1 (仮) 【総合エンターテインメント】			有料
2ch	NHK	BS2			WOWOW 新規 2 (仮) 【総合エンターテインメント】			
3ch	NHK	BS hi			スターチャンネルプラス (仮) 【映画】			
4ch	BS	日テレ	スターチャンネルクラシック (仮) 【映画など】					
5ch	BS	朝日	アニマックス 【アニメ】					
6ch	BS	TBS	BS-FOX 【総合エンターテインメント】					
7ch	BS	ジャパン	無料		SPET 【総合エンターテインメント】			
8ch	BS	フジ			J sports1 (仮) 【スポーツ】			
11ch	BS	イレブン			J sports2 (仮) 【スポーツ】			
12ch	TwelIV (トゥエルビ)					放送大学学園 【大学教育放送】		
910ch	ウェザーニュース		無料 (データ放送)	グリーンチャンネル 【農林水産情報・中央競馬】			一部有料	
9ch	WOWOW		有料					
10ch	スターチャンネル HV							

※ NHK 衛星放送契約の解約手続きについては、次号以降にお知らせします。

【スカパー e2（CS110°）放送】

無料チャンネルを除いて、加入料金と月額料金（基本料＋番組料）が必要になります。

チャンネル（全 67 チャンネル）		
有料チャンネル	○映画 10 チャンネル ○スポーツ 9 チャンネル ○音楽 5 チャンネル ○アニメ 5 チャンネル ○ニュース 5 チャンネル など多数	
無料チャンネル（ショッピング）	QVC	プライム 365.TV

※無料チャンネル（ショッピング）2 チャンネルは、契約なしで無料で視聴できます。

※お得な番組パックやアンテナ設置などいろいろな割引サービスも提供されていますので、詳しくは右記までお問い合わせください。

☎スカパー e2 ☎ 0570-088-666

☎広報情報推進課☎ 76-8301

2011 年 アナログテレビ放送終了に備える 衛星放送もアナログからデジタルへ

テレビ放送のデジタル化にともない能登町有線テレビでも 2011 年 3 月末をもってすべてのアナログ衛星放送を終了することになります。（※広報のと 7 月号参照）2011 年 4 月以降も視聴できる放送は次のとおりです。

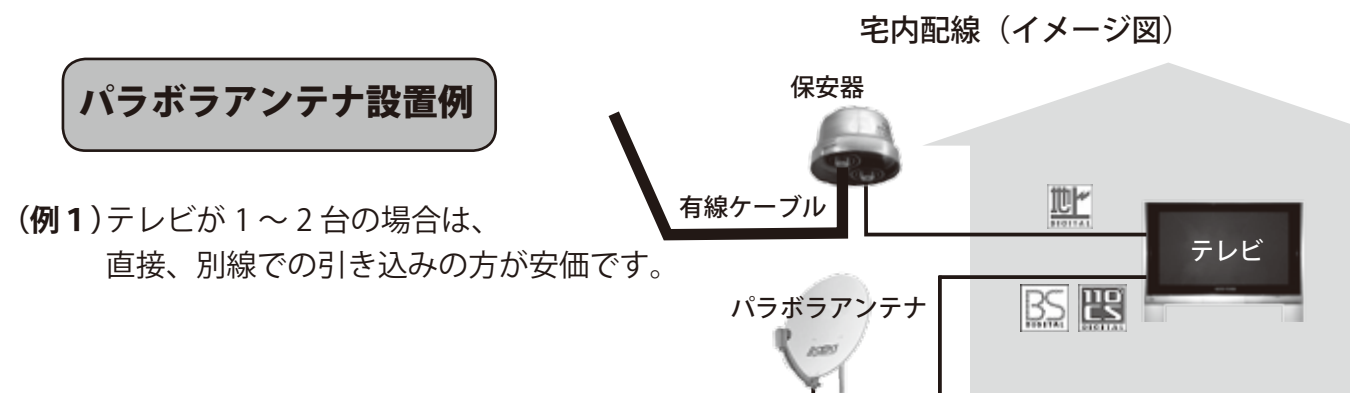
県内放送（6 チャンネル）	チャンネル		
	NHK 総合	NHK 教育	テレビ金沢
	北陸朝日放送	北陸放送	石川テレビ放送
自主放送チャンネル	町自主放送チャンネル（気象チャンネル）		

※引き続き、衛星放送をデジタルで視聴するには、パラボラアンテナが必要になります。

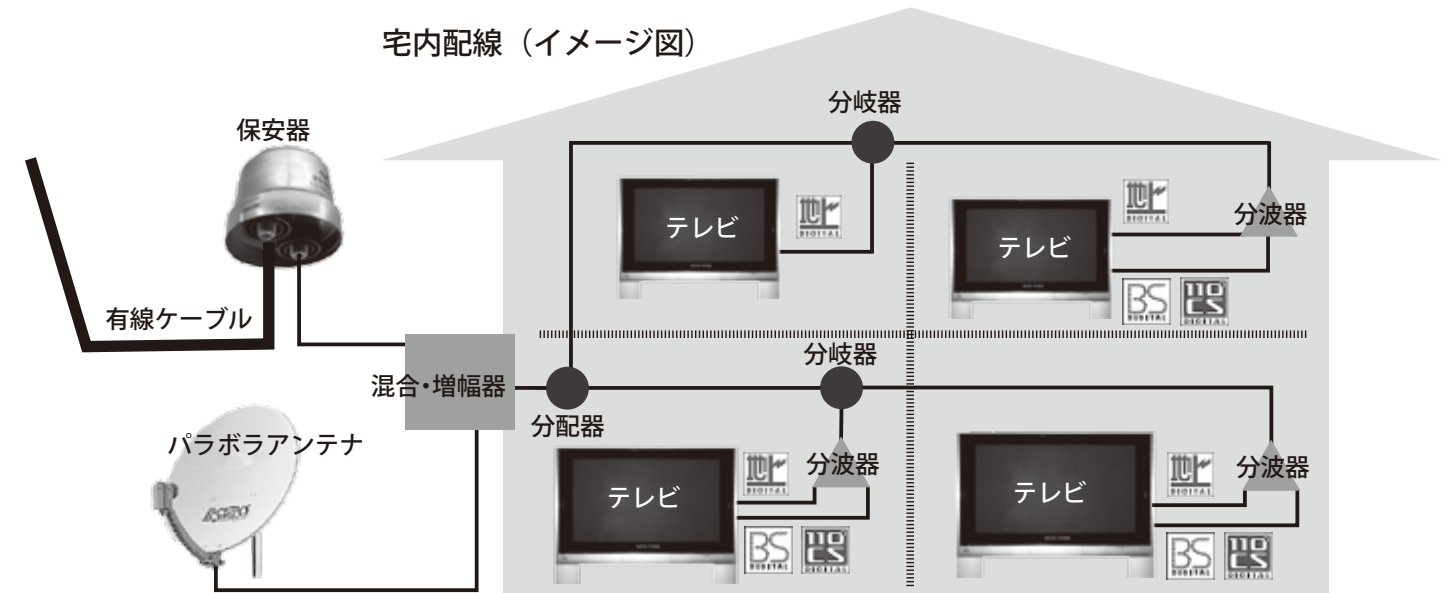
デジタルテレビはパラボラアンテナで大きく変わります！！

現在販売されているデジタルテレビのほとんどの機種は、衛星放送のデジタルチューナーが標準で内蔵されています。※上記のマークを確認してください。

衛星多チャンネル放送受信は、いまや誰でも簡単にできる時代です。難しいものではありません。



（例 2）テレビが 3 台以上の場合や宅内配線を 1 本のみにしたい場合は、有線テレビの電波と混合・増幅します。※分配器などを衛星放送対応に変える必要が生じることもあります。



※パラボラアンテナ設置は、最寄りの家電販売店などに相談してください。

真脇小児童が干し柿作り体験
晩秋から初冬の田舎の風物詩

昔ながらのお菓子づくりに親しんでもらおうと、真脇遺跡体験館が完成した平成 16 年から毎年行われている干し柿作り体験。今年は、真脇小全校児童 34 人が挑戦しました。渋柿が渋いのは、果肉に含まれる「タンニン」の成分によるもので、干し柿をすることで、その「タンニン」の内容物が凝固して渋みを感じなくなります。

児童たちは、丁寧に渋柿の皮をむき、一つ一つひもで結んでいきました。出来上がった児童から体験館の軒下につるして完成。約 1 カ月で甘い干し柿が出来上がります。



真剣な表情で渋柿の皮をむく児童ら

元気良く火災予防を呼び掛ける園児



小木保育園防火パレード
「戸締まり用心！火の用心！」

11 月 11 日、秋季全国火災予防運動に合わせ、小木保育園の園児たちが小木地内で防火パレードを行いました。3・4・5 歳の園児 35 人は、法被姿で拍子木をたたきながら「戸締まり用心、火の用心」と大きな声を出して、地域住民に火災予防を呼び掛けました。沿道には、その姿を一目見ようとたくさんの人が集まって声援を送っていました。

暖房器具を取り扱う機会が増えてくるこの時期に、皆さんにより一層気を引き締めてもらおうと行われている秋季火災予防運動。このほか町内では火災防御訓練なども行われました。

メニューの説明をする小山さん



能登産食材と牛乳を使ったメニューの試食会
飛び出せ！地元の新メニュー

能登産食材と牛乳を使ったメニューの試食会が 11 月 5 日、能都庁舎で開催され、飲食店関係者など約 30 人が参加しました。全国農協乳業協会などが企画し、ゼミ合宿で何度も来町している学習院大学の上田隆穂教授を通じて実現しました。

試食会には能登高校生が考案し、フードビジネスコーディネーターの小山浩子さんが仕上げたメニューが並びました。能登産の野菜や魚介類がふんだんに使われた今回の試食。採用されれば町内の飲食店でも食べることができるそうです。参加者からは「いいアイデアですね」などの意見が出ていました。

第 6 回能登町民文化祭
文化の秋を彩る祭典

第 6 回能登町民文化祭は 11 月 6、7 日の両日、能都地区を主会場に開催されました。能都体育館には、陶芸や生け花、絵画など文化協会員の作品が展示され、訪れた人はその出来に感心して見ていました。

7 日の芸能発表は能都庁舎 4 階で行われました。町文化協会の高木会長は「発表を味わうことで新たな交流が生まれることを願います」とあいさつ。その後、ステージ上では、舞踊や詩吟、大正琴などさまざまな団体が多彩な出し物を披露し、観客を魅了していました。



▲芸術部門の会場となった能都体育館には、たくさんの人が作品に見入っていました

◀あでやかな舞踊を披露する「治友会」の皆さん

鵜川のいどり祭り
猛暑だった今年の餅の出来は

県指定無形民俗文化財「鵜川のいどり祭り」が 11 月 7 日、鵜川菅原神社で行われました。「いどり」は、悪口を言うなどの意味で、日本三大悪口祭りに数えられています。正式には八講祭と呼び、11 月 1 日から 8 日まで行われる新嘗祭の一つです。

今年の当番が作った直径約 1.2 ㍎の大鏡餅が中央に運ばれると、その餅を持ち帰る来年の当番が餅を持ち上げて披露します。早速「大きいけれど形が悪い」「餅に波風が立っている」などといどり合い周囲は笑いに包まれました。最後は神主が仲裁し、無事来年の当番に引き継がれました。



大鏡餅を持ち上げて披露する「おやっさま」

国定教科書を朗読する中田悠斗さんと山本英理さん



第108回久田船長碑前祭
いつまでも語り継がれる英雄

10 月 29 日、今年で 108 回目となる久田佐助船長の碑前祭が行われ、鵜川小学校 5・6 年生、鵜川中学校 1 年生、地元住民など約 70 人が参列しました。明治 36 年 10 月 29 日、青函連絡船「東海丸」の船長として、100 人あまりの乗員乗客の命を救い殉職した久田船長。命と引き換えに多くの人を救った勇氣あるその行動が今に語り継がれ、毎年命日である 10 月 29 日に碑前祭が営まれています。

式典では、厳かに神事が執り行われたあと、小学校 5 年生代表による国定教科書の朗読や唱歌の合唱などが行われました。

年末年始のごみ収集・受け入れ ●受け入れ(8:30～16:30)×:休業 ※能登三郷斎場は1月1日のみ休業 環境対策課 ☎ 62-8507

		25日(土)	26日(日)	27日(月)	28日(火)	29日(水)	30日(木)	31日(金)～3日(月)	4日(火)
ごみ収集	能都地区	収集カレンダーのとおり	×	収集カレンダーのとおり				×	収集カレンダーのとおり
	内浦地区								
	柳田地区								
奥能登クリーンセンター		●		●	●	●	●		●
能都埋立処分場		●		●	●	●	●		●
し尿収集 (のどクリーンサービス)		×	×	●	●	×	×	×	●
年内の汲み取り・清掃を希望の人は12月15日(木)までにのどクリーンサービス(☎62-4400)まで申し込みください。									

ニュース ふるさと納税

神和住純さんから2度目のふるさと納税

10月23日、能登町ゆかりの元プロテニスプレーヤー、神和住純さんが「ふるさと能登町応援寄附」を持木町長に手渡しました。平成11年から開催している「神和住純杯エンジョイ・テニス・フェスティバル」のために来町。「スポーツの振興に役立ててください」と話していました。



ニュース 能登消防署

鶴川分団に新しい消防ポンプ自動車

老朽化が激しかった鶴川分団のポンプ車が10月16日に新車両(CD-1・4WD)に更新されました。



新しい車両は全長5.8m、乗車定員8人、放水能力毎分2,600ℓ、150馬力で、積雪寒冷地特殊臓装(せきそう)されています。

松波城址公園で火災防御訓練を実施



秋季火災予防運動(11月9日～15日)に合わせた火災防御訓練が11月14日、松波城趾公園・旧武道館付近で行われました。内浦分署員と消防団内浦方面隊の団員らは、迅速な消火活動を行っていました。

税金 12月の納期

固定資産(都市計画)税第3期、国民健康保険税第6期の納期限は12月27日(月)です

お知らせ 能登町ハーモニーセンター

作品展や催し物にご利用ください

ふるさと振興課 ☎ 62-8532



個人や団体で行う作品展や簡単な催し物の場所探しにお困りではないでしょうか。能登町ハーモニーセンター(遠島山公園内、旧ユースホステル)は、創作室・ホール・大展示場などがあり、幅広い活用ができますので、ぜひご利用ください。詳しくは、ふるさと振興課までお問い合わせください。

ニュース 向峠さんに石川地域づくり表彰

民話を素材に息の長い地域活動を展開

住民主体で先進的な地域づくりに取り組む団体・個人を表彰する「石川地域づくり表彰」の個人の部に向峠智隆さん＝当日＝が入賞しました。向峠さんは当日公民館長に就任した昭和62年から、「猿鬼伝説」を



▲「体が続く限り猿鬼伝説を紹介していきたい」と持木町長に語る向峠さん。(11月9日、能都庁舎で)

テーマにした地域づくり活動を開始。これまでに猿鬼歩こう走ろう健康大会や全国鬼サミットの開催などに尽力してきました。

ニュース 三遊亭楽生さんが表敬訪問

落語家の三遊亭楽生(らくしやう)さんが11月9日、能都庁舎に訪れ持木町長と懇談しました。楽生さんは、8日に国民宿舎能登やなぎだ荘で落語を口演。会場は笑いが絶えない状況だったということです。持木町長に「また能登町を訪れて落語をやりたい」と話していました。



▲三遊亭楽生さん

【能登町役場】☎62-1000(代)

能都庁舎 (☎62-4506)

総務課☎62-8510
企画財政課☎62-8503
監理課☎62-8504
税務課☎62-8505
収納対策室☎62-8506
環境対策課☎62-8507

町民課☎62-8500
能都サービス室☎62-8500
ふるさと振興課☎62-8532
海洋深層水対策室☎62-8533
会計課☎62-8509

柳田庁舎 (☎76-0039)

広報情報推進課☎76-8301
農林水産課☎76-8302

柳田サービス室☎76-8300
農業委員会☎76-8303
建設課☎76-8304

(健康推進)☎72-2504
(包括支援)☎72-2513
ねんりんピック推進室
☎72-0555

内浦庁舎 (☎72-2108)

健康福祉課
(児童保育)☎72-2512
(医療介護)☎72-2502
(福祉庶務)☎72-2503

内浦サービス室☎72-2500
上下水道課☎72-2507
教育委員会事務局☎72-2509

議会庁舎 議会事務局☎76-8310

お知らせ 能登町エンデバーファンド 21

23年度の助成申請受け付けが始まります

企画財政課 ☎ 62-8503

住民主体のまちづくり活動をソフト面から支援し、地域の振興とまちづくり活動の活性化を図る「公益信託能登町エンデバーファンド21」。まちづくり活動に取り組むグループなどに対し、その企画内容に応じて助成を行います。平成23年度の助成申請が始まります。まちづくりのアイデアを形にしてみませんか。

〈助成事業の内容〉

- ①まちづくり活動の調査研究
- ②地域の環境の保全、改善などのまちづくり活動の企画または提案づくり
- ③地域の環境の保全、改善等のまちづくり活動の実施
- ④まちづくり活動に取り組むグループ相互間の交流、情報交換など
- ⑤地域振興、観光振興などのための施設整備への支援
- ⑥その他本信託の趣旨を達成するために必要な事業

〈助成の金額〉

原則として年間総額1,000万円程度を予定。

〈助成を受けるには〉

助成を希望する場合は、「助成事業申請書(第一次審査用)」に必要事項を記入し、興能信用金庫本店営業部に提出ください。申請用紙は同金庫にあります。

〈受付期間〉

平成22年12月13日(月)～23年1月28日(金)

〈助成の決定と通知〉

第一次診査(書類審査)の結果を2月末までに通知します。5月中旬の本審査で説明し、審議の上、助成先・助成額が決定されます。

【代理店】興能信用金庫本店営業部信託係☎62-1122

お知らせ 農業委員会委員選挙人名簿登載

申請書は1月10日(月)までに提出ください

農業委員会 ☎ 76-8303

該当する人は、1月10日(月)までに登載申請書を各区长・町内会長、または農業委員会まで提出してください。各庁舎サービス室でも受け付けています。

お知らせ 地域づくり支援講座

持木町長が「あえのこと」を語ります

能登里山マイスター能登学舎 ☎ 88-2568

能登空港ターミナルビル4階で開催されている『地域づくり支援講座』。今回の講座は、持木一茂町長が講師を務め、昨年ユネスコの無形文化遺産に登録された「あえのこと」神事を中心に、文化遺産の町づくりへの活用をスライドとビデオを使ってお話しします。



受講は無料で予約も必要ありません。

テーマ『「あえのこと」に代表される、
地元に息づく資源の活用について』

〈日時〉12月3日(金) 18:20～19:50

〈講師〉持木一茂(能登町長)

お願い 除雪作業にご協力を

除雪に関する要望などはまず区長へ

建設課 ☎ 76-8304

町道は国・県道に比べると幅員が狭く、除雪機が入らない道路があるなど完全な除雪ができないことがあります。除雪が順調に進むように次のことに注意してください。

- ①自動車の路上駐車・路上放置は絶対にしない。
- ②除雪機の前後に飛び出したり、進行の妨げにならないようにしましょう。
- ③屋根雪や住宅前の除雪は各自で行ってください。
- ④狭い路地などは町内のみんなで除雪しましょう。
- ⑤道路(特に通学路・歩道)に面する屋根には、雪止めをして事故防止に努めましょう。
- ⑥各町内にある消火栓・防火水槽・ごみ収集箱付近の除雪は町内みんなで行いましょう。
- ⑦やむなく民地へ雪を押し出す場合もありますが、ご容認ください。
- ⑧除雪に関する問題については、まず区長・町会長までご相談ください。皆さんのご協力をお願いします。

バイオカ

能登町バイオマス普及啓発推進事業②

11月号に引き続き普及啓発推進事業の内容を紹介します。

③ 農業体験

滞在型農村体験で、参加者に木質ペレット燃料を暖房に利用したり、炊事に使ったりして、日常生活の中で木質バイオマスが、「有効に」かつ「当たり前」に利用できることを学びます。また、稲刈体験を行った後に



出る「わら・もみ殻」は、畜産農家への飼料および敷料として提供し、耕畜連携の取り組みを学びます。畜産農家から出る排せつ物や家庭から出る生ごみなどで作ったたい肥を利用して、野菜作りを行います。

④ CO₂削減の見える化

バイオマス資源の利活用による、公共施設の「CO₂削減効果」を見える化し、国内排出量取引などの検討を行います。

町民や能登町を訪れる観光客に対して、森林保全などのエコ体験活動してもらい、その活動内容に応じて能登町独自のエコポイント（地域通貨）の発行を商工会と検討していきます。エコ体験活動の参加者が得たエコポイント（地域通貨）は、ペレットストーブや、町内のお土産店などで能登野菜など能登町産商品などの購入に利用できるものとして考えています。

バイオマス燃料でエコッキングとエコキャンドルづくり

町の自然を守り、豊かな地域資源を次世代に引き継いでいくため、楽しみながら「バイオマス」について学びます。

- 〈日時〉 12月18日(土)13時～16時
- 〈場所〉宮地交流宿泊所「こぶし」
- 〈対象〉小学生～中学生
- ※小学生は保護者同伴
- 〈定員〉 20人程度
- 〈内容〉
 - ペレット燃料を使って、ホットケーキ作りとエコキャンドルづくり
 - ホットケーキの飾り付け
 - ホットケーキを食べながらクリスマスパーティー
 - バイオマスクイズ
 - 〈参加費〉 無料
 - 〈持ち物〉 エプロン、ずきん、内履き（スリッパはあります）
 - 〈申し込み〉ふるさと振興課 ☎62-8532 まで。定員になり次第締め切ります。

第62回人権週間

「人権デー」と「人権週間」

昭和23年12月10日、国連総会で世界人権宣言が採択されてから62周年を迎えます。

12月10日は「人権デー」と定められ、世界各国で多彩な行事が催されています。わが国においても、毎年12月4日から10日までの1週間を「人権週間」に定め、人権デーの意義を訴えるとともに人権意識の高揚を図るため、各種の啓発行事を全国各地で盛大に実施しています。

人権擁護委員とは
人権擁護委員は、自由人権思想の普及高揚に努めるとともに、日常生活における国民の基本的人権が侵害されないように絶えず監視し、もし侵害があった場合には、適切に措置を講ずることによって救済を図っています。

能登町の人権擁護委員は次の皆さんです。
▽関本昌夫（宇出津）▽堂前弘子（笹川）▽高山一夫（瑞穂）▽金七えり子（松波）▽新谷悦子（小木）▽仲谷章（天坂）▽本谷憲市（真脇）

人権啓発行事

●人権擁護街頭啓発
〈日時〉 12月4日(土)13:30～
〈場所〉 宇出津新港アルプ前

●人権講座

〈日時〉 12月7日(火)14:10～
〈場所〉 能都庁舎4階ホール
〈講師〉 常光利恵（NPO法人志ネット・石川理事長）

〈テーマ〉 私を生きる。自分を決める。（参加無料）

●中学生人権作文表彰式

〈日時〉 12月7日(火)16:00～
〈場所〉 能都庁舎3階研修室

●人権相談

能都地区…能都庁舎福祉相談室
12月9日(木)10:00～12:00
柳田地区…笹ゆり荘
12月7日(火)10:00～12:00
内浦地区…内浦福祉センター
12月10日(金)13:30～15:30

●人権常設相談（無料）
人権常設相談所 ☎0768-22-0426（金沢地方務局輪島支局内）
女性の人権ホットライン ☎0570-070-810
子どもの人権110番 ☎0120-007-110

多文化共生のつどい

今年15日は内浦で国際交流サロン

地域住民の皆さんと在住外国人とが交流する4回目の国際交流サロンは、12月15日午後7時から内浦スポーツ研修センターで開かれます。

今回は、青年海外協力隊員として、今年9月までタンザニアに赴任していた宇出津出身の滝

川麻衣さんがゲスト。滝川さんには、現地の活動内容やボランティア活動を通じて学んだことなどを話してもらいます。

国際交流に興味のある人や、いろいろな国の人と話をしてみたい人は、お気軽にご参加ください。



アフリカのタンザニアでボランティア活動をする滝川さん（中央）



ジャパネットの思い出を語る森さん

世界中に友人ができた

10月20日に開かれた第3回サロンでは、平成15年から8年連続でジャパネットのホストファミリを務めている鶴川の森進一さんが、留学生を受け入れたきつかけや交流の様子を語りました。

森さんは、ホストファミリを始めたきつかけを「子どもが人種に対する偏見を持たないようにしたかった」と話し、「自分自身も世界中に友人ができた」と笑顔を見せていました。

【入札結果】 10月16日～11月15日

広報紙では、契約金額が500万円以上の入札結果を掲載しています。全入札結果は町ホームページに掲載していますので、ご覧ください。 監理課 ☎62-8504

件 名	場所	担当課	契約額(税込)	落札者
柳田地区 鴨川工区 法面保護工事	鴨川	農林水産課	5,701,500 円	(有)モアグリーン
能登町全国瞬時警報システム（J-ALERT）整備工事	宇出津	総務課	7,770,000 円	銀扇産業(株)
瑞穂地区 給水区域内無水源地域簡易水道事業 As 舗装本復旧工事	本木・山田	上下水道課	12,600,000 円	島屋建設(株)
国民宿舎能登うしつ荘 改修工事（機械設備）	羽根	ふるさと振興課	5,565,000 円	(株)三宅配管
町道七見 11 号線 道路改良工事	七見	建設課	6,751,500 円	(株)薦土木
町道藤ノ瀬 5 号線 道路改良工事	藤ノ瀬	建設課	10,815,000 円	(有)宮田組
泌尿器科用 X 線診断装置購入	宇出津	病院	40,425,000 円	丸文通商(株) 金沢支店
上町地区 排水路整備工事	上町	農林水産課	5,649,000 円	(有)堂坂建設
柳田地区 石井工区 防火水槽設置工事	石井	農林水産課	6,604,500 円	(有)吉田土建
柳田地区 久田工区 防火水槽設置工事	久田	農林水産課	6,594,000 円	(有)山本組
配水管布設工事（斉和地内） 2 工区	中斉	上下水道課	13,650,000 円	(株)青木産業

遊々能登

EnjoyNoto
奥能登イベント情報

能登町からは「あえのこと」を紹介。



○すず吹奏楽団演奏会
12月26日(日) 13:00～
〈場所〉ラポルトすず
〈見所〉吹奏楽に力を入れてきた珠洲実業高校。その閉校をきっかけに結成された「すず吹奏楽団」が演奏会を開催。「奥能登の吹奏楽をもっと盛り上げていこう」という熱い思いを音に乗せて届けます。



○ノトリアーナ 創作パスタ料理コンテスト
12月12日(日) 14:00～
〈場所〉のとふれあい文化センター
〈見所〉地域資源発信プロジェクト「ノトリアーナ」。町内飲食店での「ノトリアーナ・メニュー」としての提供を目指し、1次審査を勝ち抜いた作品が直接対決を行います。



○能登總持寺祖院
ゆく寅(とし)くる卯(とし) 静と動の響
12月31日(金) 22:30～
〈場所〉總持寺祖院
〈見所〉新しい年は何かいいことありそう。大晦日から新年を奥能登の總持寺で。お楽しみ企画もあります。どうぞお越しください。

今日のオプスナ!



孤舟
■渡辺淳一
大手広告代理店を定年退職した威一郎。彼を待っていたのは、夫婦関係と親子関係の危機だった。



親鸞と道元
■五木寛之 立松和平【著】
自力の道元、他力の親鸞。この両者は、何が違い、何が共通しているのか。

12月の新刊案内

マリアビートル 伊坂幸太郎
お台場アイランドベイビー 伊与原 新
入院こそチャンス! 木村謙介
キルトと過ごす毎日 興梠千鶴
リボン刺しゅうの花キルト 菊池洋子
パッチワーク教室 関口尚美

行事あない

■おはなし会 11日(土)・15日(水) 14:30
■おはなし学習会 8日(水) 19:30
■おはなし勉強会 19日(日) 13:30
■読書会 22日(水) 13:30
〈開館時間〉水～日曜日 9:00～17:00
〈休館日〉月曜日、火曜日、祝日

児童館だより

こどもみらいセンター ☎62-1503 ★:対象未就園児の親子

◆開館時間 9:15～17:30 ◆休館日 月曜日、第3日曜日、28日～1月4日
3日(金) 10:30 ★ふれあいタイム 5日(日) 10:30 ごいた・餅つき大会
10日(金) 10:30 ★子育て教室(音楽会・ツリー飾り)
18日(土) 13:30 ノームクリスマス会
22日(水) 14:00 年賀状作り(要申し込み)
24日(金) 10:30 身体計測
26日(日) 10:00 門松作り(要申し込み) ※公民館と合同開催

まつなみキッズセンター ☎72-0269

◆開館時間 10:00～18:00 ◆休館日 日曜日、月曜日、29日～1月3日
1日(水) 15:00 読み聞かせボランティア「ひまわり」
10日(金) 15:30 ペン上手(硬筆学習) ※24日(金)も
11日(土) 13:00 こどももちつき大会 ※松波公民館と合同開催
15日(水) 15:00 クリスマスミニお茶会
22日(水) 15:00 ふれあいレクリエーション
23日(木) 14:00 ひまわりのお楽しみ会

中央図書館 (宇出津公民館内)
☎62-3458

図書館へおいでよ

これまで市場に流通しなかった能登の食材を、金沢市中央卸売市場に届ける取り組みをしています。自然豊かな環境で育ったおいしい能登の食材や珍しい食材は、金沢の人たちにとって非常に魅力的です。あなたの自慢の食材を気軽に出荷してみませんか。
〈出荷の方法〉専用のダンボールに農産物を入れ、お近くの農協に持って行きます。(1箱からOK)
〈出荷できるもの〉旬の野菜、果物、山菜、キノコ、つまものなど能登で採れた農林産物
〈出荷費用〉ダンボール代、運賃、市場・農協手数料
☎J A おおぞら能都支店 ☎62-2130 J A 内浦町 ☎72-2678
〃 柳田支店 ☎76-1236

能登の食材 出荷者募集中!



出荷例：エンドウマメ、山フキ

能登空港にサンタがやってくる!!

12月23日(祝) 9:30～14:30
サンタが乗った定期便(11:05 着陸予定)をみんなでむかえよう。プレゼントがもらえるかも…
★「のっぴーサンタグラス」を作ろう 9:30～14:30
★ぬりえをサンタに届けよう 9:30～14:30
★人形劇「しらゆき姫」 10:10～10:45
★幸せを呼ぶ「トントウ」を作ろう 12:00～14:30
★サンタさんと記念撮影 13:00～13:30
★フェリーチェ「クリスマスコンサート」13:30～14:00
☎能登空港賑わい創出実行委員会 ☎0768-26-2303

Christmas in Noto Airport 能登空港で クリスマス

もうすぐサンタがやってくる
12月5日(日)、12日(日)、19日(日) 12:30～14:00
★ぬりえをサンタに届けよう
★空港めぐり のっぴージャンケン
★ANA みんなで作ろう「クリスマスエアコート」



※大会案内や結果は、主催者、学校、スポーツ少年団などからの報告により掲載しています。

がんばりました(結果)

第42回能登二市一郡バドミントン大会(10/31)

〈男子団体〉①能登町A(四家裕・上畠茂利・干場和規・牧邦彰)
〈女子団体〉①能登町A(大森久恵・牧佳代・青木今日子・持木鮎美) ③能登町B(正木世都美・岩住さくら・坂本莉萌・谷口朱里)
〈男子シングルス〉①四家裕 ③牧邦彰
〈女子シングルス〉①谷口朱里 ③正木世都美
〈女子ダブルス〉①青木今日子・牧佳代 ②大森久恵・持木鮎美 ③岩住さくら・坂本莉萌

第25回山田杯争奪ソフトテニス選手権大会(10/17)
①川端光明・下畠慎也 ②松元祐樹・中田大雅 ③秋野敬済・田村陽寿介
③小原信幸・霜下勇人



優勝した瑞穂地区出身の川端・下畠ペア

第6回町民ソフトテニス大会(10/17)
①下畠尚子・河村奈々 ②尾上真耶・小坂ひかる ③高川俊貴・赤坂祐樹
③川口翔太・向井真生

第9回奥能登地区少年柔道大会(10/17)
〈団体〉①雄志館A
個人戦
〈園児〉③尾形幸誠
〈小学3年〉③岩谷惇也
〈小学4年〉①大森済生 ③山口海里
③青山祐也
〈小学6年〉②尾形結熙
〈中学生〉①山本達也 ②山本竜之介
③久田孔輝 ③和田拓巳

第29回ジュニア選手権大会(11/13・14)
〈男子100m〉③時長紫苑
〈男子200m〉②時長紫苑

第7回少年将棋大会(11/3)
①和田祐樹 ②室谷拓也 ③橋本文明

「第6回左馬ノ将杯」将棋大会(11/3)
〈A級〉①中谷内信春 ②垣内芳明 ③森田敏彦 ③山下武司
〈B級〉①水滝信二 ②綱屋保治 ③新谷正巳 ③中村俊雄

■鵜川中学校
鳳珠郡新人ソフトテニス大会(9/19)
〈女子団体〉①鵜川中
〈男子個人〉②高宮眞・仙福和弥
〈女子個人〉①井田真季・中田依緒里
②橋本遥・宮前貴子

全能登新人ソフトテニス大会(10/2・9)
〈女子団体〉①鵜川中
〈女子個人〉①橋本遥・中田依緒里
②井田真季・宮前貴子



能登北部
医師会より

(12月29日～1月3日)
**年末年始
小児科救急当番医**
～年末年始、子どもたちの安心のために～

能登地区の小児科医師が連携し、年末年始に小さなお子さんが安心して過ごせるように小児科救急医療を下記の日程で行います。診察を受けるときは必ず事前に連絡し、担当医の変更などがないか確認をお願いします。

■救急診療時間：9:00 ～ 12:00

	29 日(水)	30 日(木)	31 日(金)	1 月 1 日(土)	1 月 2 日(日)	1 月 3 日(月)
公立宇出津総合病院 ☎ 62-1311	—	救急	—	救急	—	救急
珠洲市総合病院 ☎ 82-1181	—	—	救急	—	救急	—
市立輪島病院 ☎ 0768-22-2222	—	—	救急	—	救急	—
まるおかクリニック ☎ 0768-52-8228	平日診療	救急	—	—	—	救急

能登北部医師会休日当番医 (12 月) 9:00 ～ 12:00

※都合により当番医が変更になる場合がありますので、あらかじめ電話してから受診してください。

5 日(日)	12 日(日)	19 日(日)	23 日(木)	26 日(日)	30 日(木)	31 日(金)
なかたに医院 (珠洲市上戸町) ☎ 82-8333	升谷医院 (能登町松波) ☎ 72-1151	生垣医院 (能登町柳田) ☎ 76-0001	持木メディカル クリニック (能登町宇出津) ☎ 62-1210	あいずみ クリニック (珠洲市飯田町) ☎ 82-0002	はしもと クリニック (能登町崎山) ☎ 62-8300	大貫眼科医院 (珠洲市上戸町) ☎ 82-0017
山岸医院 (輪島市門前町) ☎ 0768-42-1565	白藤医院 (穴水町川島) ☎ 0768-52-0018	栗倉医院 (輪島市町野町) ☎ 0768-32-0018	嘉門内科 クリニック (輪島市杉平町) ☎ 0768-22-6776	桶本眼科 クリニック (輪島市釜屋谷町) ☎ 0768-22-4056	まるおか クリニック (穴水町川島) ☎ 0768-52-8228	永井医院 (輪島市鳳至町) ☎ 0768-22-0032

作って・食べてみよう！能登町ふるさと自慢料理 (毎月 1 日 は家族団らん食育の日)

【レシピ】 ぶり大根

脂の乗った新鮮なブリと真っ白くみずみずしい大根で作る、寒い時期の旬の料理です。

ブリのアラから出る脂の乗った旨みを、存分に大根にしみ込ませるのがおいしさの決めて。ブリの臭みをとる下ごしらえ、大根の下茹でがポイントです。

〈材料〉

・ブリの切り身 (ブリのアラ)	4 切れ
・大根	600g (10 cm で 300g)
・水	2 カップ
・酒	1/4 カップ
・醤油	1/4 カップ
・みりん	1/4 カップ
・しょうが	2 かけ
・ゆず	

〈作り方〉

- ①ブリは 1 切れを半分から 3 つに切り、熱湯をかけます。そして、冷水にとって血合いを抜きます。
- ②大根は皮をむいて、2 cm の厚さの半月切りにします。米のとぎ汁に入れて沸騰してから 30 分ほど下ゆでし、水洗いします。
- ③しょうがはうす切りにします。
- ④鍋にブリ、しょうが、水、酒、みりんを入れて中火にかけ、煮立ったらアクを取り、大根と醤油をいれます。
- ⑤再び煮立ったら弱火にし、落としぶたをして汁気が無くなるまでじっくり煮ます。
- ⑥器にもりつけ、ゆずの千切りをちらすと出来上がりです。



乳児健診・BCG接種

12 月 2 日(木)

〈対象児〉平成 22 年 7 月 12 日～8 月 22 日生まれ

1 月 20 日(木)

〈対象児〉平成 22 年 8 月 23 日～10 月 10 日生まれ

〈受付時間〉12:45 ～ 13:00

〈場 所〉能都庁舎 1 階集会室

〈持ち物〉母子健康手帳、健診おたずね票、BCG 予診票、バスタオル

〈担当医〉乳児健診：公立宇出津総合病院小児科医師
BCG 接種：千間医師

献血のお知らせ

〈日 時〉12 月 21 日(火)

〈場 所〉能都庁舎

〈時間〉9:00 ～ 12:00
13:00 ～ 15:00



公立宇出津総合病院
だより

☎ 62-1311
<http://www.hospitalnet.jp/>
診療情報は、病院ホームページで確認できます。

■年末年始の診療のお知らせ

年末年始の休診期間は、12 月 29 日(水)～1 月 3 日(月)までです。救急の場合は、いつでも受け付けします。

■車で来院する人へのお願い

当院の駐車場が少ないため、皆さんには大変なご迷惑をおかけしています。当院に用のない人においては、車の駐車をお断りしていますので、ご協力をお願いします。

病院の構内通路への駐車は、救急車進入の支障となるために絶対にしないでください。



お知らせ

生保年金の所得税取り扱い変更

相続、贈与により取得した生命保険契約や損害保険契約などに係る所得税の取り扱いを改めることとしました。この取り扱いの変更により、所得税の還付を受けることができる場合があります。詳しくは、国税庁ホームページをご覧ください。

税務相談は予約をお願いします

- 国税に関する相談のうち、
- ①内容が複雑
 - ②書類などによる具体的な事実確認が必要
 - ③電話による回答が困難なもの
- については、あらかじめ相談日時を予約していただくようご協力お願いします。予約の際には、名前・住所・電話番号・相談内容・相談希望日時をお伺いします。
- 国税庁 HP（<http://www.nta.go.jp/>）
- ☎輪島税務署 ☎ 0768-22-2242

工業統計調査にご協力ください

12月31日現在で工業統計調査を行います。調査の実施は12月から来年1月にかけて調査員が伺います。調査票に記入した内容は秘密が厳守されていますので、正確な記入をお願いします。経済産業省ホームページ（<http://www.meti.go.jp/statistics/>）

☎工業統計調査コールセンター ☎ 0120-214118

町企画財政課 ☎ 62-8503

2年ごとに現況届けが必要です

医師、歯科医師、薬剤師は2年ごとに現況の届け出が必要です。現在、医師、歯科医師、薬剤師として業務に従事していない人も対象となります。

〈届出期限〉平成23年1月17日(月)

☎能登北部保健福祉センター ☎ 0768-22-2011

県健康推進課 ☎ 076-225-1436

講座・講習

ふぐ処理資格者試験準備講習会

県では平成18年にふぐ条例が施行され免許制となりました。石川県調理師会では、日々仕事に追われ勉強する機会の少ないふぐ取扱者の皆さんに、試験に向けての事前準備講習会を開催します。

〈日時〉平成23年2月3日(休)

実技 9:00～12:00 学科 13:00～16:00

〈場所〉金沢勤労者プラザ

〈受講料〉23,000円 〈定員〉30人程度

〈申込締切〉定員になり次第

※申込書は☎石川県調理師会、能登北部保健福祉センター、地域センターで受け取ってください。

☎☎石川県調理師会 ☎ 076-261-0144

地域資源活用セミナーを開催！

町商工会と能登高校、地元の企業が連携し特産品の開発に取り組んでいます。高校生の柔軟な発想、地元の食材、地元企業の商品化力が合わさった今までにない商品化への取り組みを聞いてみませんか。

〈テーマ〉「能登町ブランド構築を目指して～地域と能登高校の連携～」

〈講師〉大黒美恵氏(能登町商工会) 能登高校生徒

〈日時〉12月17日(金) 10:30～

〈場所〉国民宿舎能登うしつ荘

〈対象〉事業主、求職者、地域づくりに取り組んでいる人、商品開発に取り組んでいる人、興味のある人など

☎町雇用創出連絡協議会 ☎ 62-4154

求職者はぜひ聞いてみませんか

星空を通してわかる自然の豊かさ、その環境を活かしたビジネスについて、ぜひ聞いてみませんか。

〈テーマ〉「能登の美しい星空が教えてくれたこと」

〈講師〉室石英明氏(町教育委員会)

〈日時〉12月15日(水) 14:00～

〈場所〉星の観望館「満天星」

〈対象〉求職者、事業主、興味のある人など

☎町雇用創出連絡協議会 ☎ 62-4154

「トキ」の保護活動に関する講演

50年以上「トキ」の保護活動をしてきた村本義雄氏と石川動物園主任・竹田伸一氏が、「トキ」の保護の歴史と現状を子どもたちにもわかりやすく話します。ぜひお越しください。

〈日時〉12月5日(日) 14:00～

〈場所〉穴水ライフサポートセンター

※無料送迎バスが有ります。

13:00 穴水小学校 13:35 穴水駅

☎青山彩光苑穴水ライフサポートセンター ☎ 0768-52-2550

海洋ふれあいセンターへ行こう

「海藻カードづくり」

年賀状やクリスマスカードに最適。乾燥した海藻小片を使って、カード作りに挑戦します。

〈日時〉12月5日(日) 10:00～12:00

〈場所〉のと海洋ふれあいセンター

〈定員〉20人(小学校以下の人は保護者同伴をお願いします)

〈参加費〉500円(高校生以上は700円)

☎のと海洋ふれあいセンター ☎ 74-1919

募集

県学生寮の入寮生を募集します

東京地区の大学へ進学する皆さんの応募をお待ちしています。

〈寮所在地〉東京都文京区小平4丁目

〈募集人員〉平成23年度 13人(予定)

〈応募資格〉県に生活の本拠を有し、原則県内の高校を卒業した男子で、本寮から通学できる大学(短期、夜間学部は除く)へ、平成23年度入学予定・在学中で進級予定の人。かつ共同生活の意義を理解し、寮自治活動に積極的に参加し規律ある生活のできる人

〈寮費〉月額21,000円(3畳室) 月額30,000円(6畳室)

〈食費〉月額15,000円

〈保証金〉20,000円(退寮時に清算)

〈願書受付期間〉平成23年2月1日(火)～3月5日(土)必着

〈入寮選考試験〉平成23年3月11日(金) 9:00～

詳しいお問い合わせは下記まで

☎石川県学生寮 ☎ 03-3812-3719

相談

行政相談委員が相談に応じます

道路、交通、保険、年金、福祉、相続、登記など暮らしの中のさまざまな困り事について、総務大臣から委嘱された行政相談員が無料で相談に応じます。ぜひご利用ください。

〈相談時間〉10:00～12:00

会場	日程	相談員
能都庁舎	12月17日	吉岡行政相談委員 ☎ 62-1000
笹ゆり荘	12月21日	広橋行政相談委員 ☎ 76-0088

☎総務課 ☎ 62-8510

能登法律相談センターの相談日

〈12月〉2日、9日、16日(木曜日)

〈時間〉13:45～16:15(要予約)

〈場所〉穴水町保健センター

〈申し込み〉相談日前日の午後5時までに電話で予約ください。

〈相談料〉30分以内：5,000円

☎金沢弁護士会 ☎ 076-221-0242

心配ごと相談をご利用ください

■能都庁舎 9日(休)、17日(金) 10:00～12:00

■笹ゆり荘 7日(火)、21日(火) 10:00～12:00

■内浦福祉センター 10日(金) 13:30～15:30

■小木支所 20日(月) 13:30～15:30

☎社会福祉協議会 ☎ 72-2322



☎能登警察署・能登防犯協会 ☎ 62-1334

有料広告

ガス機器フェア 参加無料 簡単クリスマスケーキ作り

12/11(土) AM9:00～PM6:00

リフォームショップキッチンにてその場でケーキ作りが出来ます!!
どなたでもご参加できます

ご来店の方に
サンユーサンタより
粗品プレゼント!!

リフォームショップ **サンユー** 珠洲市飯田町7部76番地 TEL 0768-82-2118 FAX 0768-82-4675
<http://www.sunyou-works.jp> e-mail info@sunyou-works.jp

有料広告

10周年記念 **無担保教育ローン** **キャンペーン実施中!**

実施期間 2010年10月1日▶2011年7月31日

キャンペーン 変動 年1.9%～年2.6%
最優遇金利 基準金利

※別途、保証料年0.5%が必要です。 ※上記金利は、2010年10月1日現在適用中。

●ご融資額 最高1,000万円 ●ご返済期間 最長15年
●ご返済方法 毎月返済又は毎月返済・ボーナス返済の併用

北陸ろうきん 珠洲支店 ☎ 82-6111

のとキシマツツジオープンガーデン2011参加者募集

〈公開期間〉平成22年4月下旬～5月中旬

〈参加要件〉①奥能登2市2町地内にあること ②のとキシマツツジの庭木がある ③共通の看板を設置できる ④来訪者を歓迎できる など

〈募集締切〉12月17日(金)

☎県奥能登総合事務所企画振興課 ☎ 0768-26-2303





滝川麻衣さん
たきかわ・まい (29)

【Photo】滝川さん（右）提案のプロジェクトで小学校に設置されたロープポンプ。トレーニング参加者と。

実際にいかないといけないことばかりだった」

JICA（国際協力機構）が実施する青年海外協力隊としてアフリカのタンザニアに派遣されていた滝川麻衣さん（29）＝宇出津＝は、2年間で振り返る。

「最初はできないことが多かった。自分で壁を作っていたんだと思う」。言葉の壁、人種の壁、自分自身の壁。派遣当初は、さまざまな壁が滝川さんの目の前に立ちふさがった。

自分のやりたいことが見えた。あとはぶれずに進むだけ――。

「JICAでもなく、日本人でもなく、一人の人間としてタンザニアの人に心を開くことができるようになって、壁を乗り越えることができるようになった」と話す滝川さん。タンザニア人と言いたいことが言い合える関係を築こうとスワヒリ語を勉強。言葉の壁も乗り越えた。滝川さんがプロジェクトとして行った活動は▽ライフスキル教育▽小学校の水不足解決▽ロープポンプに関する活動（ト

レーニングや共同井戸のポンプ設置など）▽小学校での手洗い運動――など。

特に乾期になると井戸の水が枯れていた小学校に安全な水を提供するために奔走した。

「タンザニアでは問題が多すぎて、逆に問題意識が低い。学校や地域の人たちに説明して納得してもらい、自分たちで何とかしようと動いてもらうことが難しかった」という。現地の人のためにも「してあげる」では

なく、「一緒にやろう」という形を心掛けてきた。

「2年間の活動で強く感じたことは『人』の大切さ。いくら金やモノがあっても、そこに『人』がいなければ必要な場所に届かない。『人』を育て、やる気のある人にチャンスを与えるられることをやりたい」

新たな目標が見つかった滝川さん。来年1月からは、NGO（非政府組織）の一員として、ザンビアでの活動を始める。

き	せ	こ
ど	ま	の
11/14	～	10/15

個人情報保護のため、本人・ご家族の希望があったものを掲載しています。

うぶぐえ

・・・・すこやかにすくすくと
出生児 両親の名前 住所

湯元満月 満浩・綾子 千葉県
出口慶 義明・舞 柳田
小平智輝 幸弘・真由美 国光
田中椿 将志・茜 藤波

高砂や

・・・・いつまでもお幸せに
氏名 本籍 住所

吉田正暢 国光 金沢市
澤本晶代 愛知県 金沢市
田中泰広 宇出津 宇出津
片岸由枝 金沢市 宇出津
碓井求 穴水町 穴水町
加藤梓 小木 穴水町
前沢忠明 志賀町 内灘町
坂下真由美 北河内 内灘町
数下茂宏 珠洲市 珠洲市
仕明愛美 松波 珠洲市

おくやみ

・・・・冥福をお祈りします
氏名 年齢 住所

松本泰典 小木
上野結美子 松波
丹羽俊満 上長尾
丹羽小夏 上長尾
高田弘太郎 宇出津
船田佳奈 宇出津 崎山

田中古雄 宇出津
中坂義廣 宇出津
酒谷とき 鶴川
紙子忠俊 宇出津
又多精三 布浦
窪田貞子 上
泉みさを 柿生
田中一枝 小浦
水島尊 姫
竹下鈴枝 本木
安田ミサノ 鶴町
山下末雄 宇出津
的場武盛 鶴町
小坂ハナ 姫
中谷喜久造 国重
石淵みさの 柿生
釣谷和子 小川
山緑とみ 笹川
数下幸作 小川
中間八重子 宇出津

寄付御礼

室峰常弘さん（宇出津） 10万円
桑名茂生さん（宇出津） 10万円
泉栄次郎さん（柿生） 10万円
匿名 6696円
雨池孝之さん（柳田） 10万円
山下京子さん（宇出津） 5万円
匿名 30万円
上野淳一さん（寺分） 10万円

●人口・世帯数 平成22年11月1日現在（前月比）

人口(人)	20,999	－48
男	9,873	－23
女	11,126	－25
世帯数(戸)	8,027	－15
外国人登録者(人)	220	
男	144	
女	76	

編集後記

自分に起きる出来事は偶然なのだろうか、それとも必然なのだろうか――と考えることがある。辞書で調べてみると、『偶然』＝何の因果関係もなく、予期しないことが起こること。『必然』＝必ずそうなること。それよりほかになりようのないこと――とある。今月の特集「上を向いて歩こう」は、たくさんの偶然と必然が重なり合った結果生まれたもの。春蘭の里の人にとって、能登町にとって、そして自分にとって「必然」であってほしいと思う。

政

有料広告

指定特定施設
軽費老人ホーム

介護保険指定サービス付

来年1月入居開始

お問い合わせ
社会福祉法人 奥能登福祉会（能登町宇出津新港2丁目2番地1）TEL 0768-62-3470 FAX 0768-62-2170

ケアハウス 縄文

◎入居者受付
◎介護職員募集

有料広告

ペレットストーブ販売受付中

取り扱い機種
（国産ペレットストーブ）

石油感覚で使える地元産燃料木質ペレットで炎の見える暖かい冬を

今年度も引き続き、ペレットストーブの設置費補助金制度が適用されます。申し込みはお早めに。

能登町産ペレット燃料は、能登町の方に限り割安な町民還元価格で販売しています。

本体、取り付け一式をお見積します。気軽にご相談ください。

お問い合わせ
NORA バイオエコ能登
神和住工場 ☎ 080-3745-5154

FF式排気装置なので、排気工事は簡易です。

有料広告

スピード給付の **県民共済**

こども型 総合保障型
熟年型 新型火災共済

お問い合わせと資料のご請求は 石川県民共済生活協同組合

☎ 0120-63-5011 ☎ 076(263)5011(代) ☎ 076(263)5107
〒920-0901 金沢市彦三町2-1-10 真和ビル3F

ホームページ <http://www.ishikawa-kyosai.or.jp/> 携帯電話からはこちらへ ▶ <http://kyo-sai.jp/>